

Panton Chair

Developed by Vitra in Switzerland

Design: Verner Panton, 1999

20 世紀のデザインアイコン、「パントン チェア」は、ヴァーナー・パントンとヴィトラが共同で開発に携わり 1967 年に製品化に成功、1999 年にポリプロピレン製の製品が発表されました。ニューヨーク現代美術館では、世界で初めてのプラスチック一体成型の椅子として、世界の名だたるデザインコレクションと並び展示されています。この春、ヴィトラはこの名作チェアに明るさと鮮やかさを添える特別限定カラー「サンライト」を発売します。

パントンチェアのお話は、ヴァーナー・パントンが、「ある椅子」のプロトタイプを携えてヴィトラを訪れた 1960 年代にまで遡ります。それは全てプラスチックで作られた椅子のプロトタイプでした。この時のプロトタイプは今でもヴィトラ デザイン ミュージアムに保管されています。ヴァーナー・パントンは 1960 年代、70 年代のデザイン界において既に十分に影響力のある存在でしたが、彼は色とフォルムに関する大胆な実験を重ねていただけでなく、当時新しい素材であったプラスチックの可能性に熱中していたのです。ウィリとロルフ・フェルバウム親子はその斬新なアイディアに惹かれ、ヴァーナー・パントンと共に、この椅子を製品化しようと決意しました。しかし、その道のりは決して平坦ではありませんでした。まず、ヴァーナー・パントンとヴィトラは、完全一体成形のキャンチレバーチェアの開発にとりかかりました。人間の身体に合わせたフォルムと、柔らかく曲がりやすい素材による快適な座り心地を実現するまで数年を費やした後、このキャンチレバーチェアは、パントンチェアの名前で 1967 年に初めてお披露目され、大量生産に至りました。その後も、パントンチェアはいくつかの製造段階で進化を遂げ、ヴァーナー・パントンが当初思い描いていた、滑らかで頑丈かつカラフルなプラスチックの椅子を製造できるようになったのは 1999 年になってからのことでした。艶やかなラッカー仕上げを施したこの椅子は、今も「パントンチェア クラシック」の名で販売されています。パントンチェアはモダンデザインの名作として、国際的な賞を数多く受賞し、多くの著名な美術館にも展示されています。

「好きな色椅子に座ればきっと快適なはず」というヴァーナー・パントンの考えのもと、ヴィトラはこれまでも度々特別色を発表し、パントンチェアの色のパリエーションを広げてきました。2017 年の限定色は、ヴァーナー・パントンが好んだ透明感のある明るい黄色「サンライト」。サンライトのパントンチェアは、ダイニングルームや庭、テラスなどに、まぶしく輝く夏の気配を呼び込んでくれます。

Vitra(ヴィトラ)について

1950 年創業のスイスの家具メーカー。世界的なデザイナーの創造性と自社の開発力によって製品とコンセプトを生み出し、そのデザインの力を通してホーム、オフィス、公共スペースの空間の質の向上に貢献。またヴィトラ キャンパスにおける建築やヴィトラ デザイン ミュージアムでの展示、ワークショップ、出版物でも知られ、多様な側面を有しています。

www.vitra.com

お問い合わせ:

Vitra 株式会社

マーケティング & PR

蘆原・金子

Eri.Ashihara@vitra.com

Naoko.Kaneko@vitra.com

TEL 03 6868 7875